

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

欄に数値またはコメントを記入

(図例)フエルディ(仮)第6丁目 新築工事

配 慮 項 目			評価点	重み係数	内 訳					
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進										
1.1 建物の熱負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください レベル4を超える水準の断熱性能を満たす	3.0	0.25	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御		
	5.0	0.75	LR1	エネルギー	1	建物外皮の熱負荷抑制				
小計			4.5	0.14						
1.2 自然エネルギーの利用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	1.00	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用				
小計			3.0	0.05						
1.3 設備システムの高効率化										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 BEI=0.76	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化				
小計			5.0	0.26						
1.4 設備システムの効率的運用										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	0.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅以外の評価	4.1	モニタリング	
	0.0	0.00	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅以外の評価	4.2	運用管理体制	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅の評価	4.1	モニタリング	
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用	集合住宅の評価	4.2	運用管理体制	
	小計			3.0	0.10					
1.5 資源・マテリアル対策										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 部材の再利用可能性向上への取組みが分別可能や更新の際に、取外しが可能な為、容易である。	3.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水		
	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	1	雨水利用システム導入の有無
	3.0	0.05	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	2	雑排水等利用システム導入の有無
	2.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減		
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用		
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		
	1.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材		
	5.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		
	小計			2.9	0.31					
1.6 ライフサイクルCO2排出率										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください LCCO2排出率=31%	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮				
	小計			5.0	0.13					
1.「地球温暖化対策」の推進の評価					4.0	0.68				
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進										
2.1 温熱環境の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出				
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上		
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善		
小計			2.0	0.97						
2.2 交通負荷抑制										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制		
	小計			1.0	0.03					
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価					2.0	0.17				
■ 3. 「長寿命化対策」の推進										
3.1 耐用性の向上										
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 内装仕上げ材や空調給排水管の耐用年数の長い部材を採用している。	3.0	0.50	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振		
	3.0	0.13	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	耐震・免震・制震・制振		
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数		
	2.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数		
	4.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数		
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数		
	5.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数		
	3.0	0.08	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数		
小計			3.1	0.44						
3.2 設備の更新性										
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性		
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性		
	3.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性		
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性		
小計			3.0	0.56						
3.「長寿命化対策」の推進の評価					3.1	0.14				
■ 重点項目の総平均(上記3項目)				3.5						